

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（農村自然環境整備事業）					
地区名	みはま中部地区					
事業箇所	知多郡美浜町					
事業のあらまし	<p>本地区は、知多郡美浜町の北中部に位置し、水稻や果樹を主体とした丘陵部の農業地帯である。本地区域では、国の天然記念物に指定されている鶺鴒の池・鶺鴒の山を始めとし、多く残されている自然環境に親しむことのできるまちづくりとともに、基幹産業である農業を活かし、都市農村交流による地域の活性化を実現するため、人と自然を結ぶ環境整備が望まれている。</p> <p>このため、平成16年度から21年度まで農村自然環境整備事業を実施し、拠点である鶺鴒の池に展望台、観察所、それらと周辺の自然空間、観光農園等とを繋ぐ遊歩道など、人と自然、人と人とのふれあい・交流の場を整備した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>地域に残された自然環境を活用した整備を行うことにより、都市住民と農村住民との自然や農業を介した交流の促進を図り、本地区域の活性化に資する。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	226 百万円		■工事費 210 百万円、口用補費 百万円、■その他 16 百万円			
事業期間	採択年度	平成16年度	着工年度	平成17年度	完成年度	平成21年度
事業内容	遊歩道整備3.2km、展望台兼トイレ1か所、観察所1か所、ため池改修1か所（堤体工1式）					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>鶺鴒の池に整備された展望台、観察所等は、町内はもとより町外から訪れた小・中学校生に環境学習の場として利用されるとともに、都市部からの多くの観光客に自然とのふれあいの場として利用されている。</p> <p>また、整備された遊歩道は、そうした来訪者による利用にとどまらず町指定のハイキングコース「オレンジライン」の一部に位置付けられ、多くの地域住民や観光客にも自然空間を楽しみながら拠点施設間を往来するアクセス路として利用されている。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業で整備した各施設は、地域住民はもとより都市部からの利用者も多数あり、十分に活用されている。</p> <p>拠点となる鶺鴒の池の展望台、観察所等と既存の観光農園など周辺観光施設とが遊歩道で有機的に結合したネットワークが形成され、相互の利用を促進する相乗効果ももたらしている。</p> <p>このことから、都市住民と農村住民との自然や農業を介した交流の促進を図り、本地区域の活性化に資するという、主要目標は達成できたと考える。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。					
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。					
同種事業に反映すべき事項	自然公園内のため許認可に時間を要し、事業期間が延びることが多いので、あらかじめ関係機関と綿密な調整を行うことが肝要である。このことについて同種事業に反映する。					